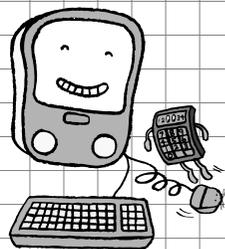
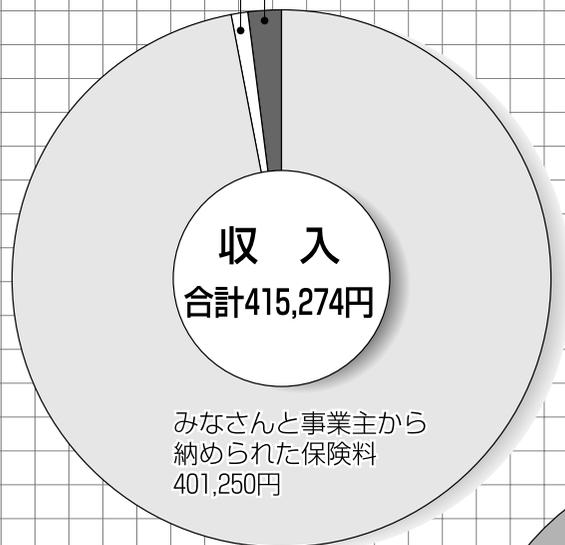


被保険者1人あたりでみた収支決算

健保組合が互いに
出し合って助け合う
お金 5,053円

その他 8,971円

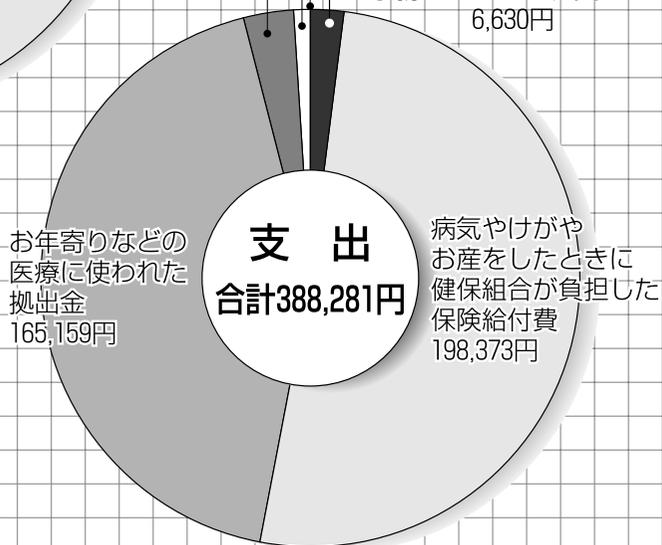


健康づくりに
使われたお金 12,602円

健保組合が互いに
助け合うための拠出金
5,023円

その他 494円

事務にかかった経費
6,630円



お年寄りなどの
医療に使われた
拠出金
165,159円



ことができました。しかし、これは医療制度改正により財政が一時的に好転しただけであり、毎年多額の負担を強いられる拠出金は前年度より3・7%も増えています。14・15年に行われた医療制度改正は、改正のほとんどが総報酬制の導入など現役世代に負担増を求めただけにとどまり、健保組合の財政を圧迫する拠出金システムなど高齢者医療制度の抜本改革については、先送りにされてしまったため、大きな課題を残しました。

現在、景気が回復してきているといわれる日本経済ですが、高齢化の進展や高齢者医療制度が続く限り、健保組合財政は好転することはなく、健保組合をめぐり、健保組合は医療費の適正化、効率的な運営に取り組んでおりますので、みなさんも日々健康にお過ごしいただき、医療費削減にご協力くださいますようお願いいたします。

平成15年度決算がまとまりました

久々の好決算、 しかし拠出金の負担は未だ重く

7月23日に開催されました第78回組合会において、平成15年度決算が可決、承認されましたのでお知らせいたします

平成15年度収入支出決算概要

●収入

科目	決算額
みなさんと事業主から納められた保険料	2,648,253千円
健保組合が互いにし合って助け合うお金(調整保険料)	33,352千円
その他	59,206千円
合計	2,740,811千円

●支出

科目	決算額
事務にかかった経費	43,755千円
病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担した保険給付費	1,309,260千円
お年寄りなどの医療に使われた拠出金	1,090,052千円
健康づくりに使われたお金	83,170千円
健保組合が互いに助け合うための拠出金	33,153千円
その他	3,266千円
合計	2,562,656千円

平成15年度介護保険 収入支出決算概要

●収入

科目	決算額
介護保険料	179,199千円
その他	2,575千円
合計	181,774千円

●支出

科目	決算額
介護納付金	168,823千円
その他	18千円
合計	168,841千円

拠出金は保険料収入の 4割以上も占める

平成15年度決算は、医療機関窓口での一部負担の引き上げや、総報酬制の導入後初めての決算です。当健保組合の15年度決算は、保険料収入の増加、保険給付費の減少などにより、経常収入が26億5481万円、経常支出は25億2905万円で、経常収支差引額1億2576万円の黒字となりました。これは10年ぶりの黒字決算です。

収入の柱となる保険料は、26億4825万円で、前年度比3億9191万円増となりました。増収の要因は、総報酬制によりみなさんと事業主から、毎月の給与のほかボーナスからも保険料を納めていただいたことによるものです。

支出では、みなさんの医療費などに充てられた保険給付費が前年度比1億4622万円減の13億926万円となりました。これは、15年4月から被保険者の医療機関窓口での一部負担が2割から3割へ引き上げられたことによるものです。お年寄りなどの医療費に使われた拠出金は10億9005万円となり、前年度比3856万円の増加です。みなさんの健康づくりに充てた保健事業費は、前年度とほぼ同額の8317万円となりました。

以上の結果、15年度決算は積立金を取り崩すこともなく、黒字決算をむかえる